

製品安全データシート

会社名 クミアイ化学工業株式会社
住所 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 生産資材部 生産業務課
電話番号 03-3822-5180
FAX 番号 03-3827-0825
作成・改定 2009年 8月31日

整理番号 K I O 1 6 - 6

製品名 DDVP乳剤50

物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：ジメチル-2, 2-ジクロロビニルホスフェイト／一般名：DDVP

成分及び含有量：DDVP	50.0 %
キシレン	18.0 %
有機溶剤、界面活性剤等	32.0 %

化学式：C₄H₇Cl₂O₄P／DDVP

C₈H₁₀／キシレン

官報公示整理番号：安衛法 2-（7）-181／DDVP

化審法 2-3224／DDVP

化審法 （3）-3／キシレン

CAS No. : 62-73-7／DDVP

1330-20-7／キシレン

国連分類：6. 1（毒物・容器等級2）

国連番号：3017（有機燐系殺虫殺菌剤類、液体、毒性かつ引火性のもの、引火点が23℃以上61℃以下のもの）

3082（環境有害物質、液体）

危険有害性の分類

分類の名称：急性毒性物質

引火性液体

その他の有害性物質

有害性：経口で毒性がある

DDVP（有機りん剤）の中毒症状

コリンエステラーゼ阻害

軽症：倦怠感、違和感、頭痛、めまい、胸部圧迫感、軽度の運動失調等の非特異的性状、

嘔気、嘔吐、唾液分泌多過、多量の発汗、下痢、腹痛、軽い縮瞳

中等症：軽症に加え、縮瞳、筋線維性れん縮、歩行困難、言語障害、視力減退、除脈

重症：縮瞳、意識混濁、対光反射消失、全身けいれん、肺水腫、血圧上昇、失禁

一旦臨床症状が軽快に向い、再度悪化することがある。まれに後日、末梢神経障害が出現

することがある。

危険性：引火し易い液体である

環境影響：水産動物に影響を及ぼすが、通常の使用方法では問題ない。養魚池周辺での使用には注意する。

応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で、十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。アルカリ性になると分解しやすいので、石鹼を使用する。この製品は揮発性なので、蒸気を吸入しないよう注意する。この製品は引火性なので、火気に注意して措置する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸い込んだ場合は医療措置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。吐き出させるとかえって危険が増すので、吐かせてはならない。水でよく口の中を洗わせてもよい。被災者に意識の無い場合はものを与えてはならない。

DDVPの解毒剤としては、硫酸アトロピン、PAM（パム）製剤が有効である。回復後は、血液コリンエステラーゼ活性値が正常に戻るまで数週間～数ヶ月は、有機燐剤、カーバメート剤等の農薬の取り扱いを避ける。乳剤に含まれている有機溶剤による中毒も考慮する。

火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガス（塩素化合物、りん酸化物等）が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

漏出時の措置

処理作業員に対する注意：作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。

環境影響に対する注意：流出した製品が河川等に多量に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。

流出物の処理に対する注意：漏出が少量の場合はウエス、砂等に吸収させて空容器に回収する。多量の場合は、土砂等で流れを止め、汲み上げ又は土砂等に吸収させて空容器にできるだけ多くを回収する。その跡を消石灰の希薄な水溶液を用いて処理した後、多量の水で洗い流す。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：取扱いは換気の良い場所で行い、ガスのこもり易い場所では取り扱わない。漏れ、あふれ、飛散がないように、みだりに蒸気を発生させない。

火災・爆発の防止：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。電気機器類は防爆型（安全増型）のものを用いる。

保管：通風をよくし、蒸気を滞留しないようにする。直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。多量の危険物の貯蔵は法令による所定の貯蔵庫に類別して貯蔵する。

暴露防止措置

管理濃度：キシレン 50 ppm（作業環境評価基準 厚生労働省告示第 369 号 平成 16 年 10 月 1 日）

許容濃度：DDVP 0.1 ppm ACGIH（1996 年度版）

設備対策：局所排気装置を設置する。

保護具 呼吸用保護具：防毒マスク（有機ガス用）

保護手袋：保護手袋（ゴム手袋、耐溶剤用手袋）

保護眼鏡：保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

保護衣：作業着、帽子、保護服、保護前掛け（不浸透性）

物理・化学的性質

外観等：褐色透明可乳化液体

比重：1.08～1.13

pH（100 倍希釈液）：2.5～4.5

危険性情報

引火点：36.5℃

安定性：水中で徐々に加水分解する

反応性：アルカリで速やかに分解する

爆発限界：上限 7.0% 下限 1.3%（推定値）／キシレン

可燃性：有り

有害性情報

刺激性（皮膚）：ウサギ 軽度の刺激性有り／DDVP 75%乳剤

刺激性（眼）：ウサギ 刺激性有り／DDVP 75%乳剤

感作性（皮膚）：モルモット 弱い感作性有り／DDVP 75%乳剤

急性毒性（経口）：ラット LD₅₀ 64 mg/kg（♀）／DDVP 75%乳剤

急性毒性（経皮）：ラット LD₅₀ 80 mg/kg（♀）／DDVP 75%乳剤

がん原性：人に対して発ガン性があるかもしれない物質／DDVP

変異原性：DNA 修復、復帰変異 陽性／DDVP

催奇形性：無し／DDVP

環境影響情報

魚毒性：コイ LC₅₀ 40 ppm以上（48 時間）

ミジンコ LC₅₀ 0.048（3 時間）

その他：鳥類、ミツバチに対して毒性がある。

廃棄上の注意

毒物及び劇物取締法の定めに従い、安全衛生上危害を生ずるおそれのない場所（都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者）で、少量ずつ処理させる。

輸送上の注意

毒物及び劇物取締法の定めに従う。（包装等級 2）

消防法の定めに従う。（危険等級 3）

運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

適用法令

農薬取締法（登録番号：第9521号）

毒劇物取締法（指定令第2条53 劇物）／DDVP

消防法（第4類 第2石油類（非水溶性液体）登録番号4041-093581）

PRTR法（対象物質：DDVP 第一種指定物質350号、

政令改正後（平成21年10月1日以降）は第一種指定物質 457号）

PRTR法（対象物質：キシレン 第一種指定物質63号、

政令改正後（平成21年10月1日以降）は第一種指定物質 80号）

※ 政令改正前（平成21年9月30日まで）の情報に基づくPRTRの届出は、平成21年度分までであり、
22年4月からは政令改正後の第一種指定化学物質による排出・移動量の把握が必要となります。

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律（PP）／DDVP

船舶による危険物の運搬基準等を定める告示（引火性液体類 中引火点引火性液体）

その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、
いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、
特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ず
しも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献：1) 製品安全データシートの作成指針（平成13年10月 社団法人 日本化学工業協会）

2) 農薬中毒の症状と治療法 平成20年4月 農林水産省農蚕園芸局

3) 15308の化学商品 2008年2月 化学工業日報社

作成部署以外の連絡先

（財団法人）日本中毒情報センター 大阪（年中無休、24時間）

0990-50-2499（ダイヤルQ²：情報料無料、通話料は相談者負担）

072-726-9923（医療機関専用：1件2000円）

つくば（毎日9時～21時）

0990-52-9899（ダイヤルQ²：情報料無料、通話料は相談者負担）

029-851-9999（医療機関専用 1件2000円）